

悪性腫瘍関連脳梗塞のバイオマーカー、治療に関する

後ろ向き観察研究

京都府立医科大学脳神経内科では、悪性腫瘍に罹患している脳梗塞患者様を対象に臨床研究を実施しております。実施にあたり京都府立医科大学医学倫理審査委員会の審査を受け、研究機関の長より適切な研究であると承認されています。

研究の目的

悪性腫瘍で治療中の患者様にはしばしば脳梗塞が合併します。悪性腫瘍に合併する脳梗塞は、通常の脳梗塞とは異なる原因、すなわち悪性腫瘍の影響で血液が固まりやすくなることが原因で起こることがあります。本研究では悪性腫瘍に合併する脳梗塞の臨床的特徴（血液検査結果やMRI所見の特徴）、脳梗塞再発率、後遺症の残す患者様の割合や有効な治療法についての検討も行います。

研究の方法

・対象となる方について

2011年1月1日～2021年3月31日までに京都府立医科大学附属病院および京都第二赤十字病院で入院加療を受けられた悪性腫瘍を合併する脳梗塞患者さん

・研究期間： 医学倫理審査委員会承認後から2023年3月31日

・方法

京都府立医科大学附属病院にて入院加療を受けられた悪性腫瘍を合併する脳梗塞患者さんの情報を診療録（カルテ）より取得し、検討を行います。

・研究に用いる情報について

研究のために、年齢、性別、臨床症状、血液検査結果、MRIなどの画像検査結果、治療法、転帰等の情報をカルテから取得します。

・個人情報の取り扱いについて

患者さんのカルテ情報をこの研究に使用する際は、氏名、生年月日などの患者さんを直ちに特定できる情報は削除し、研究用の番号を付けて取り扱います。患者さんと研究用の番号を結びつける対応表のファイルにはパスワードを設定し、インターネットに接続できない

パソコンに保存します。このパソコンが設置されている部屋は、入室が管理されており、第三者が立ち入ることができません。また、この研究の成果を発表する場合にも、患者さんが特定できる情報を使用することはありません。なお、この研究で得られた情報は研究責任者（京都府立医科大学 脳神経内科学 尾原知行）の責任の下、厳重な管理を行い、患者さんの情報などが漏洩しないようプライバシーの保護には細心の注意を払います。

研究組織

研究責任者：

京都府立医科大学 脳神経内科学 講師 尾原知行

研究担当者：

京都府立医科大学 脳神経内科学 助教 田中瑛次郎

京都府立医科大学 脳神経内科学 専攻医 前園恵子

京都府立医科大学 脳神経内科学 大学院生 小椋史織

共同研究機関

研究責任者：京都第二赤十字病院 脳神経内科 医長 永金義成

研究担当者：京都第二赤十字病院 脳神経内科 医長 藤並潤

研究担当者：京都第二赤十字病院 脳神経内科 専攻医 村田翔平

お問い合わせ先

患者さんのご希望があれば、参加して下さった方々の個人情報の保護や、研究の独創性の確保に支障が生じない範囲内で、研究計画及び実施方法についての資料を入手又は閲覧することができますので、希望される場合はお申し出下さい。

情報が当該研究に用いられることについて、患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、2023年03月31日までに下記の連絡先までお申し出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

京都府立医科大学 脳神経内科学 講師 尾原知行（おはらともゆき）

電話：075-251-5793 FAX:075-211-8645 （応対可能時間：平日 9時00分～16時00分）

住所：〒602-8566 京都市上京区河原町通広小路上る梶井町 465